

第21回特別企画展 災害と情報

≧名古屋大学減災館≧

2017年2月15日(水) ~ 3月25日(土)



減災情報利活用(GIS)研究会

近年の情報通信技術(ICT)の発展はめざましく、あらゆるものが情報によって便利になりつつあります。一方で、我々は情報に依存しすぎている面もあります。特に災害時には、必要な情報が手に入らないために被害が大きくなることもありえます。本企画展では、最新の技術や研究成果をもとに、そのような災害情報の可能性と課題の両面に迫ります。

【監修】 減災情報利活用(GIS)研究会

【主催】 名古屋大学減災連携研究センター

Disaster Mitigation Research Building

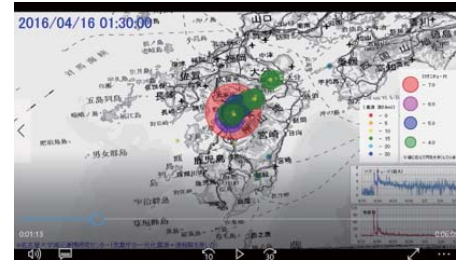
※名古屋大学減災連携研究センター『減災情報利活用(GIS)研究会』では、災害情報の利用者や技術者、研究者が集まって、情報活用の技術や手法を研究することにより、自然災害の被害軽減を目指しています。本展は、同研究会会員の研究成果に基づいて企画しております。



情報収集ツールを用いた熊本地震の現地調査と現地支援本部での活用



名古屋大学総合防災訓練における活用の様子



熊本地震の予震発生時の時間変化（ムービー）

情報基盤を用いた減災まちづくりへの活用例



特別企画展スペシャルギャラリートーク
(場所：減災館)



- 2017年2月21日(火)、2017年3月24日(金) 13時30分～
テーマ：「防災・減災と情報リテラシー：正しく情報を読み解くために」
講師：倉田和己（減災連携研究センター助教）

- 2017年3月9日(木) 13時30分～
テーマ：「まちに情報を重ねる～名古屋編～(仮)」
講師：千葉啓広（減災連携研究センター研究員）



体感・体験により減災を学ぶ場である減災館では、特別企画展スペシャルギャラリートーク以外にも、開館日の13:30～減災館の教員によるギャラリートークを行っております。
ギャラリートークの内容はホームページでご確認ください（ギャラリートーク予定表をダウンロードできます）。

2.15 ²⁰¹⁷ 水 → 3.25 土

第21回特別企画展

designed by M.A



名古屋大学減災館

名古屋市千種区不老町
TEL:052-789-3468
<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/>

- 入場無料
 - 開館時間：13:00～16:00（入場は閉館の30分前まで）
 - 休館日：日・月曜日、祝日、第2・第4火曜日
（但し、学校行事等により上記以外で急遽休館になる場合がございます。最新の情報は、ホームページでご確認ください。）
- 【主催】名古屋大学減災連携研究センター